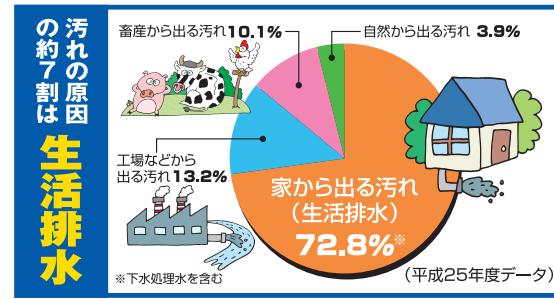


子どもたちが、いきいきと 水しぶきをあげて遊べる 川をめざして。

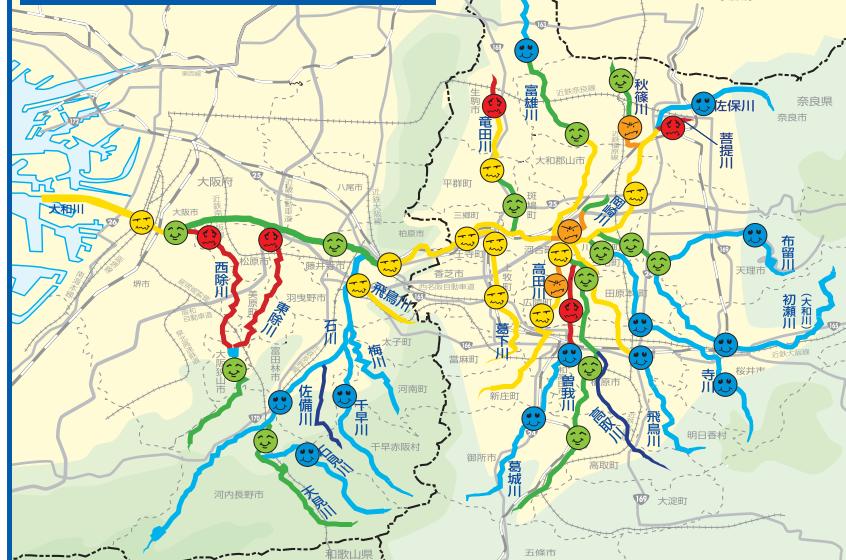
劣悪な状況であった大和川の水質は年々改善され、昭和45年には 31.6mg/l であったBOD75%値は平成28年には 2.9mg/l となり、9年連続で環境基準レベル(5.0mg/l 以下)を維持しています。

今ではアユの産卵や遡上が確認されるまでになってきましたが、流域全体では環境基準を上回る地点もみられます。

大和川をもっときれいにするために、「遊べる大和川」「生きものにやさしい大和川」「地域で育む大和川」を目指して、できることからはじめましょう。

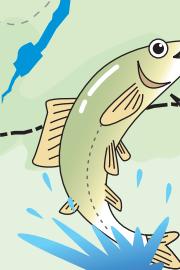


平成18年度の大和川の水質



大和川水質マップ 平成28年度の大和川の水質

100万尾・天然アユがのぼる 大和川をめざそう!



10年前と比べてみて

 が少なくなって がこんなに広がってきたよ。



川の色はBOD75%値を
示しています

※BODとは水を生物が浄化するのに必要な酸素量です。
この値が小さいほど水がきれいといえます。

